

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	8
事業名	成人予防接種事業費	会計	款	項	目
		一般	4	1	2
施策	2	人にやさしいまち	課名	健康長寿課	
	2-1	健康に暮らすまちをつくる	係名	健康づくり係	
	2-1-1	自らの健康づくりの推進			
主要施策	⑥感染症対策の推進				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、予防接種法に基づき定期接種を実施する。 ・長期の入院等やむを得ない理由で、委託外医療機関で予防接種をした方に、委託単価相当額を助成する。 ・任意接種として高齢者肺炎球菌ワクチン・高齢者インフルエンザ接種費用の一部を助成する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	風しん第5期接種者数 (抗体検査含む)	-	399	696	人	→	600	
2	肺炎球菌 (高齢者)	718	296	358	人	→	300		
3	インフルエンザ (高齢者)	3488	3874	4947	人	→	4000		
4									
5									
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			0		23,429		26,968		
財源内訳	直接事業費 A				21,239		23,986		
	うち一般財源				21,239		20,972		
人件費 (千円) B			0		2,190		2,982		
内訳	一般職員 (人・千円)				0	0.25	1650	0.37	2442
	臨時職員 (人・千円)				0	0.3	540	0.3	540

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	接種の必要性について、丁寧な説明・周知に努める。	③取組の課題	周知・再勧奨をし、定期接種 (風しん追加的対策) の適正実施を進める。任意接種 (高齢者肺炎球菌ワクチン・高齢者インフルエンザ) については、周知に努める。
②R2年度に実施した取り組み	風しん追加的対策 (第5期) ・高齢者肺炎球菌ワクチンの対象者に個別通知を行う。	④今後の改善計画	定期接種 (風しん追加的対策) の未受診者勧奨を継続する。